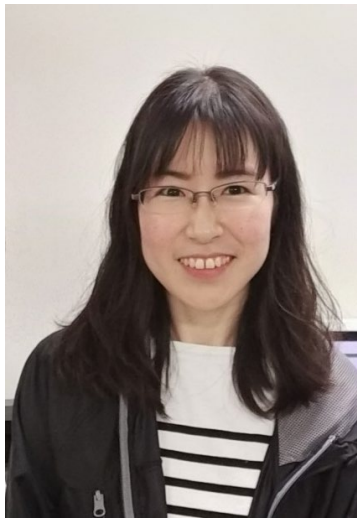




第118回京都大学丸の内セミナー



木材の経年変化： 1000年を経た木材はどうなるのか

令和4年4月8日（金）

18:00～19:30

講演者：松尾 美幸

（京大大学生存圏研究所・准教授）

木材は、適切なメンテナンスをすれば非常に長持ちする材料です。現存する世界最古の木造建築である法隆寺五重塔から近代の諸建築に至るまで、100年、時には1000年を超えるスパンで、建築物を支えることができます。さらに建築のみならず、彫像、楽器、絵画、道具などの様々なものに木材は用いられ、木の文化を形作ってきました。

一方で、高分子を主成分とする木材の材料特性は、長い時間をかけて少しずつ変化することが知られています。木材でできた建築物や美術品、工芸品などを長く使い、あるいは適切に保存・修復するためには、この材料特性の変化（経年変化）を知ることが重要です。これにより、残存強度を推測したり、古い木材を再現した修復用の交換材料を準備したりすることができます。本講演では、木材の経年変化についての一連の研究をご紹介します。



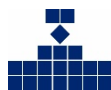
ケヤキ古材（京大材鑑調査室収蔵）

図1 古材の表面は日光や風雨等により劣化しているが、内側には健全部が残る。



Matsuo et al. Holzforschung 2011を改

図2 古材と熱処理材は外観がよく似ている。熱処理により経年変化を短時間で再現することを試みている



京都大学丸の内セミナー 令和4年 開催予定一覧

開催回	日時	講演者 所属	講演タイトル	講演者
第118回	令和4年4月8日(金)	生存圏研究所	木材の経年変化：1000年を経た木材はどうなるのか	松尾 美幸 准教授
第119回	令和4年5月13日(金)	こころの未来 研究センター	わたしたちはどのように嘘をつくのか：不正行為を生み出す脳とこころ	阿部 修士 准教授
第120回	令和4年6月3日(金)	iPS細胞研究所	iPS細胞を用いた再生医療の現状と展望	長船 健二 教授
第121回	令和4年7月1日(金)	生態学研究センター	(未定)	(未定)
第122回	令和4年8月5日(金)	フィールド科学 教育研究センター	(未定)	(未定)
第123回	令和4年9月2日(金)	基礎物理学研究所	(未定)	(未定)
第124回	令和4年10月7日(金)	野生動物研究センター	知床の海棲哺乳類	三谷 曜子 教授
第125回	令和4年11月4日(金)	学術情報メディア センター	(未定)	(未定)
第126回	令和4年12月2日(金)	数理解析研究所	(未定)	(未定)

※(未定)については、講演者、講演タイトルが確定次第、研究連携基盤HP(表面参照)にてお知らせいたします。
お申込みは各開催日の約3か月前を予定しております。